

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7595791号
(P7595791)

(45)発行日 令和6年12月6日(2024.12.6)

(24)登録日 令和6年11月28日(2024.11.28)

(51)国際特許分類		F I		
H 0 4 L	51/02 (2022.01)	H 0 4 L	51/02	
G 0 6 Q	50/00 (2024.01)	G 0 6 Q	50/00	3 0 0
H 0 4 L	67/00 (2022.01)	H 0 4 L	67/00	
H 0 4 L	51/52 (2022.01)	H 0 4 L	51/52	
請求項の数 7 (全18頁)				
(21)出願番号	特願2023-571177(P2023-571177)	(73)特許権者	523120812	
(86)(22)出願日	令和4年5月25日(2022.5.25)		ディー ユー カンパニー, リミテッド	
(65)公表番号	特表2024-521666(P2024-521666 A)		大韓民国 0 6 0 9 1, ソウル, ガンナ	
(43)公表日	令和6年6月4日(2024.6.4)	(74)代理人	100091683	
(86)国際出願番号	PCT/KR2022/007393		弁理士 ▲吉▼川 俊雄	
(87)国際公開番号	WO2022/250438	(74)代理人	100179316	
(87)国際公開日	令和4年12月1日(2022.12.1)		弁理士 市川 寛奈	
審査請求日	令和6年1月16日(2024.1.16)	(72)発明者	ソ, スン ヒョン	
(31)優先権主張番号	10-2021-0068237		大韓民国 1 6 5 4 5, ギョンギード,	
(32)優先日	令和3年5月27日(2021.5.27)		スウォンーシ, ヨントンーグ, メタンー	
(33)優先権主張国・地域又は機関	韓国(KR)		口 1 2 6 ボンーギル, 2 2, 1 0 4ー	
			1 6 0 3	
		(72)発明者	バク, ジン ヨン	
			大韓民国 0 6 0 6 5, ソウル, ガンナ	
			最終頁に続く	

(54)【発明の名称】 個人化メッセージングサービスシステムおよび個人化メッセージングサービス方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

アーティストアプリが設置されてネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記アーティストアプリを通じて識別コードを含んだアーティストメッセージが登録されるアーティスト端末；

使用者アプリがそれぞれ設置されて前記ネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージが表示される少なくとも一つ以上の使用者端末；および

前記ネットワークを利用して前記使用者端末および前記アーティスト端末と通信する中央サーバーを含み、

前記使用者アプリは、

使用者アカウントのログインサービスを提供する使用者ログインサービス部；

前記使用者アカウントの使用者情報に基づいて、使用者メッセージの発送を予め定められた基準により制限するように構成されたメッセージ発送制御部；

前記使用者メッセージを発送し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージをチャットウィンドウに表示するように構成される使用者チャットングサービス部を含み、

前記メッセージ発送制御部は、入力される使用者メッセージのテキストの文字数を制限し、前記使用者情報のうちアーティスト別購読日数情報に基づいて発送するアーティスト別使用者メッセージのテキストの文字数を制限することを特徴とする、個人化メッセージ

ングサービスシステム。

【請求項 2】

前記メッセージ發送制御部は、

使用者情報に基づいて使用者が發送可能な使用者メッセージのテキストの文字数を表示し、使用者から入力される使用者メッセージのテキスト文字数をカウントして、現在入力された文字数および残った文字数のうち少なくとも一つをチャットウィンドウに表示する文字数カウント部；

前記使用者メッセージが發送可能な文字数を超過した場合、メッセージ發送が不可であるという通知を通報するメッセージ入力通知部；および

發送が不可な使用者メッセージに対して、ポイントまたは有料商品決済を通じてメッセージ發送が可能であるようにメッセージ商品を提示するメッセージ商品提示部を含む、請求項 1 に記載の個人化メッセージングサービスシステム。

10

【請求項 3】

前記メッセージ入力通知部は、

前記使用者メッセージが發送可能な文字数を超過した場合、一次的に發送が不可であるという通知を通報し、二次的に使用者メッセージの内容修正または前記メッセージ商品を通じての前記使用者メッセージを發送を選択するように通知することを特徴とする、請求項 2 に記載の個人化メッセージングサービスシステム。

【請求項 4】

前記メッセージ發送制御部は、入力される使用者メッセージに写真、動画、音声のうち少なくとも一つを含むコンテンツを含ませることを制限することを特徴とする、請求項 1 に記載の個人化メッセージングサービスシステム。

20

【請求項 5】

前記メッセージ發送制御部は、前記使用者情報のうち個人化メッセージングサービス加入日情報に基づいて發送する使用者メッセージのテキストの文字数を制限することを特徴とする、請求項 1 に記載の個人化メッセージングサービスシステム。

【請求項 6】

前記ポイントは、購読中のアーティストから付与されたフィードバックポイント、アーティストメッセージに対して迅速なフィードバックメッセージを提供した場合に付与されるポイントのうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の個人化メッセージングサービスシステム。

30

【請求項 7】

アーティストアプリが設置されてネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記アーティストアプリを通じて識別コードを含んだアーティストメッセージが登録されるアーティスト端末、使用者アプリがそれぞれ設置されて前記ネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージが表示される少なくとも一つ以上の使用者端末、および前記ネットワークを利用して前記使用者端末および前記アーティスト端末と通信する中央サーバーを含む個人化メッセージングサービスシステムを利用した、個人化メッセージングサービス方法において、

40

前記使用者アプリは、

使用者アカウントのログインサービスを提供する段階；

使用者から使用者メッセージが入力されると、前記使用者アカウントの使用者情報に基づいて、使用者メッセージの發送を予め定められた基準により制限する段階；および

前記使用者メッセージを發送し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージをチャットウィンドウに表示する段階を含み、

使用者メッセージの發送を制限する段階では、入力される使用者メッセージのテキストの文字数を制限し、前記使用者情報のうちアーティスト別購読日数情報に基づいて發送するアーティスト別使用者メッセージのテキストの文字数を制限することを特徴とする、個人化メッセージングサービス方法。

50

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は個人化メッセージングサービスシステムおよび個人化メッセージングサービス方法に関し、より詳細には、個人化メッセージングサービスの購読対象である特定アーティストに多数の使用者がそれぞれの使用者メッセージを送信するにおいて、購読日数などの顧客評価情報に基づいて使用者メッセージの送信機能を制限する個人化メッセージングサービスシステムおよび個人化メッセージングサービス方法に関する。

【背景技術】

【0002】

インターネットを利用して使用者間の情報を伝達する方法にはインスタントメッセージサービス (Instant Message Service; IMS) およびソーシャルネットワークサービス (Social Network Service; SNS) 等が存在することができる。使用者はインスタントメッセージサービスを通じて1:1で直接対話をするようにメッセージをやりとりすることができるだけでなく、一つのチャットウィンドウを通じて数人が共に対話することもできる。インスタントメッセージサーバーは単純にメッセージを伝達する機能だけでなく、メッセージャーチャットウィンドウを通じて顔文字、スタンプ、ギフトクーポンなどをチャット相手に伝送したり、ファイルを伝送する機能も提供することができる。

【0003】

ソーシャルネットワークサービスはインターネット上で利用者が人的ネットワークを形成できるようにするサービスであり、特定関心分野または活動に関連した情報を共有できるようにしてくれる。個人間のメッセージサービスとしてカカオトークなどのインスタントメッセージサービスが広く使われており、芸能人やスポーツスターなどのセレブ (celebrity) とファンが疎通するチャンネルとして、ツイッター、インスタグラムなどのソーシャルネットワークサービスが広く使われている。

【0004】

しかし、カカオトークなどのインスタントメッセージサービスは、一対多形式のメッセージングにおいては、団体チャットルームを利用する方法が開示され、ツイッターやインスタグラムの場合も同様に、セレブ1人が掲示するメッセージを多くの使用者に同一に表示して、多くの使用者が同一のメッセージを読む方式のコミュニケーションがなされるだけであり、多数のセレブ (アーティスト) とファン (使用者) がそれぞれのファンの立場でのより個人的な (private) コミュニケーションのための要求を充足できないでいた。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明が解決しようとする課題は、個人的な (private) コミュニケーションがなされるセレブ (アーティスト) とファン (使用者) 間のインスタントメッセージのサービスにおいて、使用者の動機を付与するとともに、健全なファンダム文化形成のために使用者評価情報に基づいてアーティストに送信するメッセージの送信機能を制限する、個人化メッセージングサービスシステムを提供するところにある。

【0006】

本発明の他の目的は、前記個人化メッセージングサービスシステムを通じてなされる個人化メッセージングサービス方法を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記の本発明の目的を具現するための一実施例に係るオーダーメイド型個人化メッセージングサービスシステムは、アーティストアプリが設置されて前記ネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記アーティストアプリを通じて識別コードを含んだアーティスト

10

20

30

40

50

トメッセージが登録されるアーティスト端末、使用者アプリがそれぞれ設置されてネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージが表示される前記少なくとも一つ以上の使用者端末、および前記ネットワークを利用して前記使用者端末および前記アーティスト端末と通信する中央サーバーを含み、前記使用者アプリは、使用者アカウントのログインサービスを提供する使用者ログインサービス部、前記使用者アカウントの使用者情報に基づいて、使用者メッセージの発送を予め定められた基準により制限するように構成された前記メッセージ発送制御部、および前記使用者メッセージを発送し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージをチャットウィンドウに表示するように構成される使用者チャットサービス部を含む。

10

【0008】

本発明の一実施例において、前記メッセージ発送制御部は、入力される使用者メッセージのテキストの文字数を制限することができる。

【0009】

本発明の一実施例において、前記メッセージ発送制御部は、前記使用者情報のうちアーティスト別購読日数情報に基づいて発送するアーティスト別使用者メッセージのテキストの文字数を制限することができる。

【0010】

本発明の一実施例において、前記メッセージ発送制御部は、使用者情報に基づいて使用者が発送可能な使用者メッセージのテキストの文字数を表示し、使用者から入力される使用者メッセージのテキスト文字数をカウントして、現在入力された文字数および残った文字数のうち少なくとも一つをチャットウィンドウに表示する文字数カウント部、前記使用者メッセージが発送可能な文字数を超過した場合、メッセージ発送が不可であるという通知を通報するメッセージ入力通知部、および発送が不可な使用者メッセージに対して、ポイントまたは有料商品決済を通じてメッセージ発送が可能であるようにメッセージ商品を提示するメッセージ商品提示部を含むことができる。

20

【0011】

本発明の一実施例において、前記メッセージ入力通知部は、前記使用者メッセージが発送可能な文字数を超過した場合、一次的に発送が不可であるという通知を通報し、二次的に使用者メッセージの内容修正または前記メッセージ商品を通じての前記使用者メッセージを発送を選択するように通知することができる。

30

【0012】

本発明の一実施例において、前記メッセージ発送制御部は、入力される使用者メッセージに写真、動画、音声のうち少なくとも一つを含むコンテンツを含ませることを制限することができる。

【0013】

本発明の一実施例において、前記メッセージ発送制御部は、前記使用者情報のうち個人化メッセージングサービス加入日情報に基づいて発送する使用者メッセージのテキストの文字数を制限することができる。

【0014】

本発明の一実施例において、前記ポイントは、購読中のアーティストから付与されたフィードバックポイント、アーティストメッセージに対して迅速なフィードバックメッセージを提供した場合に付与されるポイントのうち少なくとも一つを含むことができる。

40

【0015】

前記の本発明の目的を具現するための一実施例に係るオーダーメイド型個人化メッセージングサービス方法は、アーティストアプリが設置されて前記ネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記アーティストアプリを通じて識別コードを含んだアーティストメッセージが登録されるアーティスト端末、使用者アプリがそれぞれ設置されてネットワークを通じて中央サーバーと通信し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージが表示される前記少なくとも一つ以上の使用者端末、

50

および前記ネットワークを利用して前記使用者端末および前記アーティスト端末と通信する中央サーバーを含む個人化メッセージングサービスシステムを利用し、前記使用者アプリは、使用者アカウントのログインサービスを提供する段階、使用者から使用者メッセージが入力されると、前記使用者アカウントの使用者情報に基づいて、使用者メッセージの発送を予め定められた基準により制限する段階、および前記使用者メッセージを発送し、前記識別コードに基づいて前記アーティストメッセージから変換された個人化メッセージをチャットウィンドウに表示する段階を含む。

【0016】

本発明の一実施例において、前記使用者メッセージの発送を制限する段階は、入力される使用者メッセージのテキストの文字数を制限することができる。

10

【0017】

本発明の一実施例において、前記使用者メッセージの発送を制限する段階は、前記使用者情報のうちアーティスト別購読日数情報に基づいて発送するアーティスト別使用者メッセージのテキストの文字数を制限することができる。

【発明の効果】

【0018】

本発明の実施例によると、購読日数などの使用者評価情報に基づいてアーティストに発送するメッセージの発送機能を制限することによって、個人的なコミュニケーションがなされるアーティストと使用者間の一对多インスタントメッセージのサービスにおいて、使用者の動機を付与するとともに、健全なファンダム文化を形成することができる。

20

【0019】

ただし、本発明の効果は前記効果に限定されるものではなく、本発明の思想および領域から逸脱しない範囲で多様に拡張され得るであろう。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムを示した図面である。

【図2】一人のアーティストと二人の使用者が本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムを利用する様子を説明するための図面である。

【図3】本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムの使用者端末に具現された使用者アプリおよびアーティスト端末に具現されたアーティストアプリを図示したブロック図である。

30

【図4】使用者端末に具現された使用者アプリのメッセージ発送制御部を説明するためのブロック図である。

【図5】本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービス方法の使用者アプリの使用者インターフェースUIの例示図である。

【図6】本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービス方法を示したフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0021】

以下、図面を参照して本発明の好ましい実施例をより詳細に説明することにする。

40

【0022】

本発明は多様な変更を加えることができ、多様な形態を有することができる。特定実施例を図面に例示して本文に詳細に説明しようとする。しかし、これは本発明を特定の開始形態に対して限定しようとするものではなく、本発明の思想および技術範囲に含まれるすべての変更、均等物乃至代替物を含むものと理解されるべきである。

【0023】

図1は、本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムを示した図面である。図2は、一人のアーティストと二人の使用者が本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムを利用する様子を説明するための図面である。

50

【0024】

図1および2を参照すると、前記個人化メッセージングサービスシステムは複数の使用者端末10a、10b、10c、10d、アーティスト端末20、ネットワーク30、中央サーバー40を含むことができる。

【0025】

前記使用者端末は第1使用者端末10a、第2使用者端末10b、第3使用者端末10cおよび第4使用者端末10dを含むことができる。

【0026】

前記第1～第4使用者端末10a、10b、10c、10dは第1～第4使用者がそれぞれ使うスマート機器であり得る。ここで、前記スマート機器はコンピュータや携帯用端末であって、それぞれの使用者は前記使用者端末10a、10b、10c、10dを通じてのウェブ(Web)、アプリ(Application)またはウェブアプリの形態で前記ネットワーク30を通じて前記中央サーバー40に通信接続して個人化メッセージングサービスの提供を受けることができる。ここで、個人化メッセージは1人のアーティストが多数の使用者に伝達するメッセージであって、使用者それぞれの固有の使用者情報を利用して、少なくとも一部の用語が前記使用者情報を含むように修正された個人化メッセージである。すなわち、前記使用者情報により、第1使用者に伝達される第1個人化メッセージと第2使用者に伝達される第2個人化メッセージは少なくとも一部分が互いに異なり得る。

【0027】

前記第1～第4使用者は前記第1～第4使用者端末10a、10b、10c、10dを通じてそれぞれの使用者メッセージを入力することができる。前記使用者メッセージは前記個人化メッセージが表示されるチャットルームで入力可能であるので、あたかも第1～第4使用者それぞれは一人のアーティストと1:1チャットをしているような使用者経験をサービスを通じて提供を受けることができる。

【0028】

これを通じて、複数の使用者が一人のアーティストとプライベート(private)な1:1チャットングを通じて疎通することによって、既存の一对多形式の一方的な疎通から抜け出して、使用者がより親密な疎通感を感じることができる。

【0029】

一方、前記コンピュータは例えば、ウェブブラウザ(WEB Browser)が搭載されたデスクトップ(desktop)、ラップトップ(laptop)、タブレットPC(Tablet PC)等を含み、前記携帯用端末は例えば、携帯性と移動性が保障される無線通信装置であって、スマートフォン(smartphone)、PCS(Personal Communication System)、GSM(Global System for Mobile communication)、PDC(Personal Digital Cellular)、PHS(Personal Handyphone System)、PDA(Personal Digital Assistant)、IMT(International Mobile Telecommunication)-2000、CDMA(Code Division Multiple Access)-2000、W-CDMA(W-Code Division Multiple Access)、Wibro(Wireless Broadband Internet)端末などのようにすべての種類のハンドヘルド(Handheld)基盤の無線通信装置を含むことができる。

【0030】

それぞれの使用者端末10a、10b、10c、10dには使用者アプリが設置され得る。前記使用者アプリを通じて前記第1～第4使用者は所望するアーティストと個人化チャットングサービスを利用することができる。前記使用者アプリに対する詳しい説明は図3に対する説明で後述する。

【0031】

前記使用者端末10a、10b、10c、10dは前記使用者アプリの命令により、前記ネットワーク30を通じて前記中央サーバー40に接続してデータを送受信できるように構成される。

【0032】

ここで前記ネットワーク30は移動通信網を利用して具現され得、前記移動通信網はWAN (Wide Area Network)、PAN (Personal Area Network)、3G、4G、LTE、5Gおよびワイファイ (Wi-Fi) 等を含むことができるが、これに限定されはしない。

【0033】

一方、使用者は自身の使用者端末を利用して使用者アカウントログイン後、サービス利用のために、アーティスト別に決済を進行することができる。前記決済は期間別決済サービスの形態で提供され、例えば、月購読型自動更新商品で提供されて、持続的な購入およびサービス維持を奨励することができる。

【0034】

前記アーティスト端末20はアーティストが使うスマート機器であり得る。前記アーティスト端末20は前記ニックネーム識別コードを含むアーティストメッセージの入力を受けることができる。前記アーティスト端末20は前記アーティストを購読した使用者が入力する使用者メッセージを表示することができる。

【0035】

前記アーティストメッセージは加入日識別コードをさらに含むことができる。この場合、前記個人化メッセージは前記アーティストメッセージの前記加入日識別コードを該当使用者の加入日情報に置き換えて生成することができる。前記加入日情報は該当使用者が該当アーティストを購読した日数(日付)をいい、例えば、使用者の加入日情報は前記使用者別決済情報により前記中央サーバー40または前記各使用者端末10a、10b、10c、10dで生成され得る。

【0036】

一方、前記個人化メッセージの生成は前記中央サーバー40、または個別使用者端末10a、10b、10c、10dで生成されてもよく、必要に応じて前記個人化メッセージの生成が前記中央サーバー40と前記使用者端末10a、10b、10c、10dの両方でなされてもよいであろう。

【0037】

図2を再び参照して、個人化メッセージの生成について具体的に説明する。一例として、前記第1使用者および前記第2使用者それぞれがアーティストを購読した場合の個人化メッセージングサービスシステムを説明する。

【0038】

前記アーティストは前記アーティスト端末20を利用して、アーティストメッセージを入力する。前記アーティストメッセージは前記ニックネーム識別コードまたは前記加入日識別コードを含むことができる。

【0039】

前記アーティストメッセージは前記ネットワーク30を通じて前記中央サーバー40に伝送され、前記中央サーバー40は前記アーティストのアーティストログイン情報を確認し、前記第1使用者の使用者ログイン情報を確認して前記第1使用者の使用者情報を呼び出す。前記第1使用者の使用者情報には第1ニックネーム情報および第1加入日情報を含むことができる。前記第1ニックネーム情報は前記第1使用者が直接指定するものであって、前記第1アーティストが自身を称する呼称として所望する単語を指定することができる。前記第1加入日情報は前記第1使用者が前記第1アーティストを購読した購読日数であり、前記第1使用者の決済情報を利用して生成され得る。

【0040】

一方、本実施例では前記第1個人化メッセージが前記中央サーバー40で生成されるものとして説明したが、これに限定されない。例えば、前記第1個人化メッセージの生成の

10

20

30

40

50

ためにニックネーム識別コードをニックネーム情報に置き換える作業は使用者の個別使用者端末で直接遂行されて、前記中央サーバー４０の演算負荷を減らす方向にシステムが具現されてもよいであろう。

【００４１】

前記第１アーティストメッセージの前記ニックネーム識別コードおよび前記加入日識別コードは前記第１ニックネーム情報および前記第１加入日情報に置換されて、前記第１個人化メッセージが生成され、前記第１個人化メッセージは前記第１使用者の前記第１使用者端末１０aに表示されて、前記第１使用者のスマートフォン端末の専用アプリのチャットルームで前記第１アーティストが前記第１使用者に１：１チャットメッセージを送ったように表示され得る。

10

【００４２】

また、前記第１アーティストメッセージの前記ニックネーム識別コードおよび前記加入日識別コードは前記第２使用者の第２ニックネーム情報および第２加入日情報に置換され、前記第２個人化メッセージが生成され、前記第２個人化メッセージは前記第２使用者の前記第２使用者端末１０bに表示され得る。

【００４３】

このように、個人化メッセージを生成することにより、複数の使用者は一人のアーティストとプライベート（private）な１：１チャットを通じて疎通することによって、既存の一对多形式の一方的な疎通から抜け出して、使用者がより親密な疎通感を感じることができる。

20

【００４４】

図３は、本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービスシステムの使用者端末に具現された使用者アプリおよびアーティスト端末に具現されたアーティストアプリを図示したブロック図である。図４は、使用者端末に具現された使用者アプリのメッセージ發送制御部を説明するためのブロック図である。図５は、本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービス方法の使用者アプリの使用者インターフェースUIの例示図である。

【００４５】

図１～５を参照すると、前記使用者アプリ１００は前記使用者端末に設置されてネットワークを通じて中央サーバーと通信し、使用者アカウントのログイン、アーティストとの個人化チャットサービス機能を遂行することができる。

30

【００４６】

前記使用者アプリ１００は使用者アカウントのログインサービスを提供するログインサービス部１１０、前記個人化メッセージを表示し、使用者メッセージの入力を受ける個人化チャットサービス部１２０、および使用者情報に基づいてメッセージ發送機能を制限するメッセージ發送制御部１３０を含むことができる。

【００４７】

使用者は使用者アカウントログイン後、サービス利用のために、決済を進行することができる。前記決済は期間別決済サービスの形態で提供され、例えば、月購読型自動更新商品で提供され、持続的な購入およびサービス維持を奨励することができる。

【００４８】

前記使用者アカウントには予め入力された使用者情報が保存されていることもある。例えば、前記使用者情報は前記使用者アカウントに予め保存されたニックネーム、記念日情報、加入日情報などであり得る。また、前記使用者情報は前記使用者端末から認知される位置情報を含むことができる。

40

【００４９】

前記ニックネームはアーティストが使用者を称する時に使う用語であり、使用者が前記使用者アプリ１００を通じて設定することができる。前記記念日情報は例えば、使用者の誕生日など、アーティストが使用者の記念日を記念してくれることを所望する日であり、使用者が前記使用者アプリ１００を通じて設定することができる。前記加入日情報は使用者がサービス利用のために決済を開始した日であり、該当アーティストを購読した日を表

50

示するために使われ得る。

【0050】

本実施例において、前記使用者情報はニックネーム、記念日情報、加入日情報、位置情報などが例示されたが、これに限定されず、個人化メッセージ生成に使われ得る使用者の個人化データを含むことができる。例えば、使用者の使用言語、血液型、決済情報などの個人化データが前記使用者情報にさらに含まれ得る。

【0051】

前記個人化チャットサービス部120はアーティストが發送するアーティストメッセージに基づいて生成された個人化メッセージを受信して表示し、前記使用者がアーティストに送るメッセージである使用者メッセージの入力を受けることができる。前記使用者メッセージはテキストおよびコンテンツのうち少なくとも一つを含むことができる。前記コンテンツは写真、動画、音声のうち少なくとも一つを含むことができる。

10

【0052】

前記メッセージ發送制御部130は使用者情報に基づいてメッセージ發送機能を制限するように構成され、ポイントまたは商品決済で使用者が作成可能なメッセージの文字数を拡大して發送を支援するように構成される。例えば、前記メッセージ發送制御部130は使用者別アーティストを購読した購読日数情報に基づいて、購読日数が特定日数を越えることになれば、使用者がアーティストに送る返事メッセージのテキストの文字数を向上させたり、前記返事メッセージに写真を添付可能にするなどの差別化されたサービスを提供することができる。

20

【0053】

例えば、前記特定日数は次第にまたは記念日により一定だけ以上の文字数を拡大することができる。例えば、購読した日が1～49日は30文字、50日は50文字、77日は77文字、その後、100日単位で入力可能な文字数を100文字だけ増加させることができる。一方、本実施例では前記メッセージ發送制御部がアーティスト別購読日数を基準としてメッセージ發送機能を制限することを例にして説明したが、これに限定されない。例えば、特定アーティストに対する購読日数基準ではなく、サービス加入日を基準として制限してもよい。

【0054】

前記メッセージ發送制御部130は文字数カウント部131、メッセージ入力通知部132およびメッセージ商品提示部133を含むことができる。

30

【0055】

前記文字数カウント部131は使用者アカウントからの使用者情報に基づいて使用者が作成可能なメッセージの文字数を表示し、これに基づいて、使用者がチャットウィンドウに使用者メッセージを入力時、文字数をカウントして現在入力した文字数、または残った文字数をチャットウィンドウに表示するように構成される。

【0056】

前記メッセージ入力通知部132は、使用者が發送を試みた使用者メッセージが入力可能な文字数を超過した場合、一次的に發送が不可であるという通知を通報するように構成される。また、文字数が超過した場合だけでなく、使用者別作成可能なメッセージ上に写真などのコンテンツの添付が制限される場合、使用者が写真などのコンテンツを添付した状態で發送を試みた場合、一次的に發送が不可であるという通知を通報することができる。

40

【0057】

以後、前記メッセージ入力通知部132は使用者に、使用者メッセージの内容を修正するかまたは入力された使用者メッセージをそのまま發送するかどうかをウィンドウを提示するように構成される。ただし、これに限定されない。前記メッセージ入力通知部は、使用者が入力したメッセージの文字数が許容された文字数を超過する場合、直ちに、内容修正のための通知を通報したり、またはこれ以上文字の入力が不可であるようにチャットウィンドウを非活性化させるように構成され得る。

【0058】

50

前記メッセージ商品提示部 133 は発送が不可な使用者メッセージに対して、使用者の選択によってそのまま発送が選択されると、有料商品であるメッセージ商品を使用者端末に提示するように構成される。また、有料商品を決済時、使用者は該当メッセージを発送することができ、有料商品未決済時、メッセージ内容修正段階に移動することができる。一方、有料商品の他にも、使用者のメッセージングサービスの利用によるポイントなどの使用者の評価情報、例えば、アーティストから付与されたフィードバックポイント、アーティストメッセージに対して迅速なフィードバックメッセージを提供した場合に付与されるポイント、決済により累積されるポイントなどで決済を進行することもできる。

【0059】

これに伴い、使用者購読日数などの使用者評価情報に基づいてアーティストに発送するメッセージの発送機能を制限し、アーティストに送る返事メッセージのテキストの文字数を拡大したりまたは使用者メッセージに写真を添付可能にすることによって、個人的なコミュニケーションがなされるアーティストと使用者間の一对多インスタントメッセージのサービスにおいて、使用者の動機を付与するとともに、健全なファンダム文化を形成することができる。

【0060】

前記アーティストアプリ 200 は前記アーティスト端末に設置されてネットワークを通じて中央サーバー 40 と通信し、アーティストアカウントのログイン、多数のファンである使用者にメッセージを伝達して受信するアーティストチャットングサービス機能を遂行することができる。

【0061】

前記アーティストアプリ 200 はアーティストアカウントのログインサービスを提供するアーティストログインサービス部 210、アーティストのメッセージが入力されるチャットング入力部 220、および使用者から使用者メッセージを受信するアーティストチャットングサービス部 230 を含むことができる。

【0062】

前記アーティストログインサービス部 210 はアーティストを識別するアーティストのアカウントを管理するように構成され、アーティストはアーティストのアカウントログイン後、サービスを利用することができる。

【0063】

前記チャットング入力部 220 はアーティストがアーティストメッセージを入力するウィンドウであり、予め定められた一つ以上の識別コードを含むアーティストメッセージを入力することができる。例えば、アーティストはアーティストメッセージのテキストに、識別コードとして??@@@??作成時、購読者である使用者の1:1チャットルームには、購読者のニックネームに置換されて見えることになる(例示: 予め設定されたニックネームが「ジンヨン」である場合、@@@何してるの?→ジンヨン何してるの?)。一方、前記識別コードに隣接する助詞の場合、置換された使用者情報の最後の文字の最終になる子音の種類によって自動で適切な助詞に変更したり追加、削除することができる。この時、前記アーティストメッセージの識別コードの次に分かち書きなしにすぐに入力される助詞を前記隣接する助詞として認識して、これを適切な助詞に変更したり追加、削除することができる(例示: 予め設定されたニックネームが「ジンヨン」である場合、@@@が何してるの?→ジンヨン何してるの?)。

【0064】

一方、前記識別コードはニックネーム識別コード、記念日識別コード、加入日識別コード、位置情報識別コードを含むことができる。また、前記アーティストアプリはアーティストメッセージの発送前、アーティストが作成されたメッセージを検収できるように、アーティストメッセージ発信前にアーティスト自体検収画面を提供することができる。

【0065】

前記チャットング入力部 220 を通じてアーティストは入力したアーティストメッセージをチャットウィンドウに登録することができる。登録されたアーティストメッセージ

10

20

30

40

50

は予め定められた基準により発信待機状態に置かれることになり、この後、チャットウィンドウでのアーティストの操作によって発送され得る。ただし、これに限定されない。アーティストの操作がなくても自動的に一定時間が経過した後に発送され得、またはアーティストの選択によってアーティストメッセージ別に臨時保存機能で発信待機状態に置かれるようにしたり、または登録により即刻に発送するように操作されてもよい。

【0066】

また、前記チャット入力部220を通じてアーティストは予約メッセージまたはアーティストイベントメッセージを入力することができる。以後、これを利用して個人化予約メッセージまたは個人化イベントメッセージを生成し、予め定められた予約時間またはイベント発生時、使用者アプリを通じて前記個人化予約メッセージまたは個人化イベントメッセージを表示することができる。例えば、特別な記念日にメッセージ予約発送が可能であり、クリスマス、バレンタインデーなどの特定日または使用者の誕生日に合わせてメッセージ伝送が可能である。

10

【0067】

例えば、前記使用者情報に含まれた使用者の誕生日の特定時間を予約時間として決定することができる。識別コードを含む誕生日祝いメッセージを入れたアーティスト予約メッセージを個人化予約メッセージに変換して前記予約時間に使用者アプリ100に伝送したり、前記使用者情報に含まれた決済情報を利用して、識別コードを含むアーティスト購読感謝メッセージを入れたアーティストイベントメッセージを個人化イベントメッセージに変換して、使用者が月購読決済（イベント発生）時、使用者アプリ100に伝送することができる。

20

【0068】

前記アーティストチャットサービス部260は多数の使用者に発信したアーティストメッセージが表示され、多数の使用者から前記使用者メッセージを受信して表示することができる。すなわち、前記アーティストチャットサービス部260は前記少なくとも一つ以上の使用者端末それぞれの使用者アプリに発信されたアーティストメッセージを表示し、使用者アプリを通じて使用者メッセージを受信して表示するように構成される。

【0069】

一方、前記アーティストチャットサービス部260を通じてアーティストは使用者メッセージに対して、「良い」等で評価を遂行でき、該当評価はキャッシュとして活用可能な使用者別ポイントの形態で累積されて管理され得る。

30

【0070】

これを通じて、多数のファンはアーティストとチャットをするプライベート（private）な1：1チャットルームを経験でき、アーティストは効率的に多数のファンにサービスを提供することができる。特にスマートフォンなどの端末を通じて容易にアーティストアプリ、使用者アプリが具現されるので、場所や時間に拘ることなく容易かつ迅速にサービスに接近することが可能であり、アーティストに対する速い情報、アーティストのリアルタイムの現況などを所望するファンとしての使用者の欲求を充足することができる。

【0071】

40

一方、前記使用者情報は前記使用者が使う使用者言語を含むことができる。前記アーティストメッセージが基準言語ではない言語で作成された場合、予め設定された前記基準言語に翻訳され、前記中央サーバー40または前記使用者アプリ100で前記基準言語を前記使用者言語に翻訳して、前記使用者言語の翻訳は機械翻訳、または人工知能翻訳を通じてなされ得る。

【0072】

また、前記中央サーバー40は、前記使用者メッセージを前記アーティストアプリ100に伝送するにおいて、不適切な内容のメッセージをフィルタリングして、前記使用者メッセージが不適切な内容を含む場合、前記使用者メッセージの前記アーティストアプリ100への伝送を遮断することができる。

50

【0073】

前記フィルタリングは、前記使用者メッセージがテキスト（TEXT）を含む場合、文字認識技術を利用して、予め設定された禁則語が含まれるかを比較し、前記使用者メッセージがイメージまたは映像を含む場合、イメージまたは映像認識技術を利用して、予め設定された禁止イメージを含むかを比較することができる。

【0074】

図6は、本発明の一実施例に係る個人化メッセージングサービス方法を示したフローチャートである。

【0075】

図1～図6を参照すると、前記個人化メッセージングサービス方法はアーティストメッセージ入力段階（S100）、個人化メッセージ生成段階（S200）、個人化メッセージ表示段階（S300）、使用者メッセージ入力段階（S400）、使用者メッセージ發送制御段階（S500）および使用者メッセージ表示段階（S600）を含むことができる。

10

【0076】

前記アーティストメッセージ入力段階（S100）では、アーティストはアーティスト端末に設置されたアーティストアプリを利用して、識別コードを含むアーティストメッセージを作成することができる。この時、前記識別コードはニックネーム識別コード、記念日識別コード、加入日識別コード、位置情報識別コードを含むことができる。また、前記アーティストアプリはアーティストメッセージの發送前、アーティストが作成されたメッセージを検収できるように、アーティストメッセージ發信前にアーティスト自体検収画面を提供することができる。前記メッセージ入力完了すれば、前記アーティストメッセージが登録される。

20

【0077】

前記個人化メッセージ生成段階（S200）では、アーティストから識別コードを含む前記アーティストメッセージが登録されると、前記アーティストメッセージの前記識別コードを対応する使用者情報に置き換えて個人化メッセージを生成することができる。

【0078】

前記アーティストメッセージの前記ニックネーム識別コードは前記ニックネームに置換され、前記記念日識別コードは前記記念日に置換され、加入日識別コード、位置情報識別コードは前記位置情報に置換されて前記個人化メッセージが生成され得る。

30

【0079】

例えば、アーティストはアーティストメッセージのテキストに??@@@??作成時、購読者である使用者の1:1チャットルームには、購読者のニックネームに置換されて見えることになる（例示：予め設定されたニックネームが「ジンヨン」である場合、@@@何してるの?→ジンヨン何してるの?）。一方、前記識別コードに隣接する助詞の場合、置換された使用者情報の最後の文字の最終になる子音の種類によって自動で適切な助詞に変更したり追加、削除することができる。この時、前記アーティストメッセージの識別コードの次に分かち書きなしにすぐに入力される助詞を前記隣接する助詞として認識し、これを適切な助詞に変更したり追加、削除することができる（例示：予め設定されたニックネームが「ジンヨン」である場合、@@@が何してるの?→ジンヨン何してるの?）。

40

【0080】

また、前記アーティストアプリはアーティスト予約メッセージまたはアーティストイベントメッセージの入力を受けることができる。以後、これを利用して個人化予約メッセージまたは個人化イベントメッセージを生成し、予め定められた予約時間またはイベント発生時、使用者アプリを通じて前記個人化予約メッセージまたは個人化イベントメッセージを表示することができる。例えば、特別な記念日にメッセージ予約發送が可能であり、クリスマス、バレンタインデーなどの特定日または使用者の誕生日に合わせてメッセージ伝送が可能である。

【0081】

50

また、使用者が使う使用者言語に対する情報に基づいてアーティストが伝送するメッセージを使用者が使う言語に翻訳して提供することができる。例えば、前記使用者情報は前記使用者が使う使用者言語を含み、前記アーティストメッセージが基準言語ではない言語で作成された場合、予め設定された前記基準言語に翻訳され、前記基準言語を前記使用者言語に翻訳して、翻訳された個人化メッセージを生成することができる。この時、前記使用者言語の翻訳は機械翻訳、または人工知能翻訳を通じてなされ得、知られている多様な機械翻訳、または人工知能翻訳システムを活用することができる。

【0082】

前記個人化メッセージ表示段階（S300）では、複数の使用者それぞれの使用者端末にそれぞれの個人化メッセージが表示され得る。例えば、前記使用者端末は第1使用者端末および第2使用者端末を含み、前記第1使用者端末にログインされた使用者アカウントの使用者情報は第1使用者情報を含み、前記第2使用者端末にログインされた使用者アカウントの使用者情報は第2使用者情報を含むことができる。前記アーティストメッセージの前記識別コードは、前記第1使用者情報に置換されて前記アーティストメッセージから第1使用者個人化メッセージを生成し、前記識別コードは、前記第2使用者情報に置換されて前記アーティストメッセージから第2使用者個人化メッセージを生成することができる。前記第1使用者個人化メッセージは前記第1使用者端末に表示され、前記第2使用者個人化メッセージは前記第2使用者端末に表示され得る。

10

【0083】

前記使用者メッセージ入力段階（S400）では、複数の使用者それぞれが使用者端末を利用して使用者メッセージを作成することができる。すなわち、前記個人化メッセージを受信した使用者がアーティストに対する返事メッセージとして、使用者フィードバックである使用者メッセージを作成することができる。

20

【0084】

前記使用者メッセージ發送制御段階（S500）では、使用者が入力した使用者メッセージに対して使用者情報に基づいてメッセージ發送機能を制限するように構成され、ポイントまたは商品決済で使用者が作成可能なメッセージの文字数を拡大して發送を支援するように構成される。

【0085】

例えば、使用者別前記加入日情報を利用して、該当アーティストを購読した日が特定日数を越えることになれば、使用者がアーティストに送る返事メッセージのテキストの文字数を向上させたり、前記返事メッセージに写真を添付可能にするなどの差別化されたサービスを提供することができる。

30

【0086】

例えば、前記特定日数は次第にまたは記念日により一定だけ以上の文字数を拡大することができる。例えば、購読した日が1～49日は30文字、50日は50文字、77日は77字、その後、100日単位で入力可能な文字数を100文字だけ増加させることができる。

【0087】

具体的には、使用者アカウントからの使用者情報に基づいて使用者が作成可能なメッセージの文字数を表示し、これに基づいて、使用者がチャットウィンドウに使用者メッセージを入力時、文字数をカウントして現在入力した文字数、または残った文字数をチャットウィンドウに表示するように構成される。

40

【0088】

前記使用者メッセージ入力段階（S400）で使用者メッセージが入力され、使用者が發送を試みた使用者メッセージが入力可能な文字数を超過した場合、一次的に發送が不可であるという通知を通報するように構成される。また、文字数が超過した場合だけでなく、使用者別作成可能なメッセージ上に写真などのコンテンツの添付が制限される場合、使用者が写真などのコンテンツを添付した状態で發送を試みた場合、一次的に發送が不可であるという通知を通報することができる。

50

【0089】

以後、使用者に、使用者メッセージの内容を修正するかまたは入力された使用者メッセージをそのまま發送するかどうかをウィンドウを提示するように構成される。ただし、これに限定されない。使用者が入力したメッセージの文字数が許容された文字数を超過する場合、直ちに、内容修正のための通知を通報したり、またはこれ以上文字の入力が不可であるようにチャットウィンドウを非活性化させるように構成され得る。

【0090】

使用者別許容範囲を超過する使用者メッセージに対して、使用者の選択によってそのまま發送が選択されると、有料商品であるメッセージ商品を使用者端末に提示するように構成される。また、有料商品を決済時、使用者は該当メッセージを發送することができ、有料商品未決済時、メッセージ内容修正段階に移動することができる。一方、有料商品の他にも、使用者のメッセージングサービスの利用によるポイントなどの使用者の評価情報、例えば、アーティストから付与されたフィードバックポイント、アーティストメッセージに対して迅速なフィードバックメッセージを提供した場合に付与されるポイント、決済により累積されるポイントなどで決済を進行することもできる。

10

【0091】

これに伴い、使用者購読日数などの使用者評価情報に基づいてアーティストに發送するメッセージの發送機能を制限し、アーティストに送る返事メッセージのテキストの文字数を拡大したりまたは使用者メッセージに写真を添付可能にすることによって、個人的なコミュニケーションがなされるアーティストと使用者間の一対多インスタントメッセージのサービスにおいて、使用者の動機を付与するとともに、健全なファンダム文化を形成することができる。

20

【0092】

また、前記使用者アプリは發送した使用者メッセージを表示するものの、前記使用者メッセージに対するアーティストの開封済みの有無を示す識別表示とともに表示することができる。前記使用者メッセージは前記アーティストが該当使用者メッセージを確認せずとも、予め定められた時間範囲内で一定にまたはランダムな時間経過後、前記識別表示を開封済みに変更することができる。前記アーティストが次のアーティストメッセージを入力すれば、前記識別表示を開封済みに変更することができる。これを通じて、使用者はアーティストが自身の使用者メッセージを確認したと認知することができる。

30

【0093】

前記使用者メッセージ表示段階（S600）では、複数の使用者メッセージを受信してアーティスト端末に表示することができる。これを通じて、アーティストが使用者が發送するメッセージを確認でき、アーティストアプリではこれを効率的に管理するために、アーティストが發送したメッセージ別対応する前記使用者メッセージを保存し、アーティストが必要とする時、特定のアーティストメッセージに対する使用者メッセージを容易に検索することができる。

【0094】

一方、前記使用者メッセージをアーティストアプリに表示する前に、不適切な内容のメッセージをフィルタリングして、前記使用者メッセージが不適切な内容を含む場合、前記使用者メッセージの前記アーティストアプリへの伝送を遮断することができる。前記フィルタリングは、前記使用者メッセージがテキスト（TEXT）を含む場合、文字認識技術を利用して、予め設定された禁則語が含まれるかを比較することができる。前記使用者メッセージがイメージまたは映像を含む場合、イメージまたは映像認識技術を利用して、予め設定された禁止イメージを含むかを比較することができる。

40

【0095】

また、フィルタリング対象の使用者メッセージを指定された回数以上發送する使用者のアカウントに対しては、ブラックアカウントに指定して、以後使用者メッセージの伝送を全面遮断することができる。

【0096】

50

前記使用者メッセージはアーティストアプリに時間順で整列されて保存されるか、予め設定された優先順位により整列されて、アーティストに見えられ得る。例えば、購読回数が多い忠誠度の高い使用者順で整列して、アーティストが忠誠度高い使用者の使用者メッセージを先に確認できるようにすることができる。

【0097】

本発明の実施例によると、個人化メッセージングサービスシステムはアーティストアプリを通じてアーティストがアーティストメッセージを作成し、複数の使用者それぞれの個人化情報を利用して複数の使用者それぞれに合う個人化メッセージに変換した後、これを使用者アプリに表示することができる。これに伴い、アーティストと使用者が個人化されたメッセージを利用してプライベート (private) な1:1チャットルームを通じて疎通することによって、既存の一对多形式の一方的な疎通から抜け出して、使用者がより親密な疎通感を感じるサービスを提供することができる。特に、少数のアーティストが多数の使用者との1:1チャットサービスを提供できるため、芸能人とファンの間の親密なコミュニケーションに基づいて新しいコミュニケーションシステムを提供することができる。

10

【0098】

また、本発明の実施例によると、購読日数などの使用者評価情報に基づいてアーティストに発送するメッセージの発送機能を制限することによって、個人的なコミュニケーションがなされるアーティストと使用者間の一对多インスタントメッセージのサービスにおいて、使用者の動機を付与するとともに、健全なファンダム文化を形成することができる。

20

【0099】

以上、実施例を参照して説明したが、該当技術分野の熟練した当業者は下記の特許請求の範囲に記載された本発明の思想および領域から逸脱しない範囲内で本発明を多様に修正および変更できることが理解できるであろう。

【符号の説明】

【0100】

- 10：使用者端末
- 20：アーティスト端末
- 30：ネットワーク
- 40：中央サーバー
- 50：オーダーメイド型広告提供サーバー

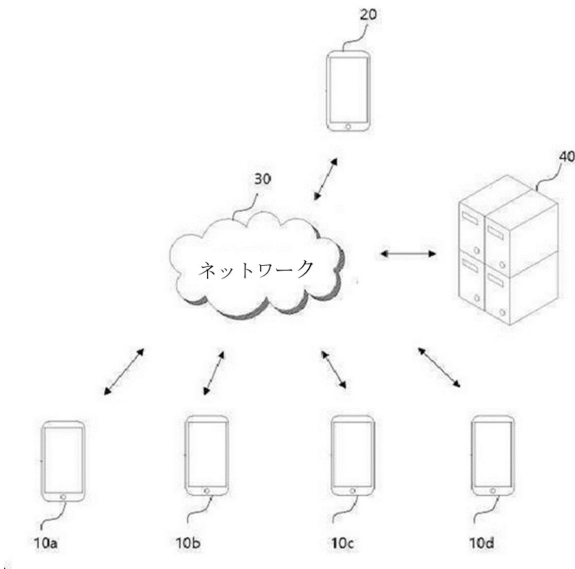
30

40

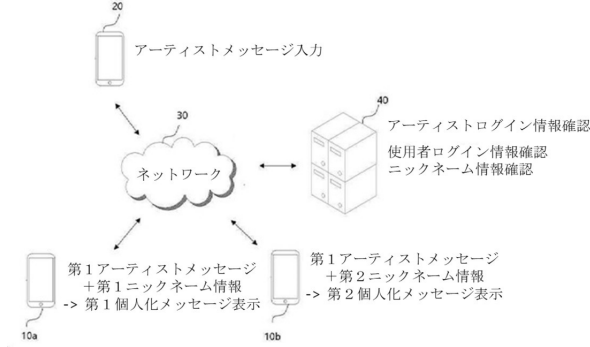
50

【図面】

【図 1】



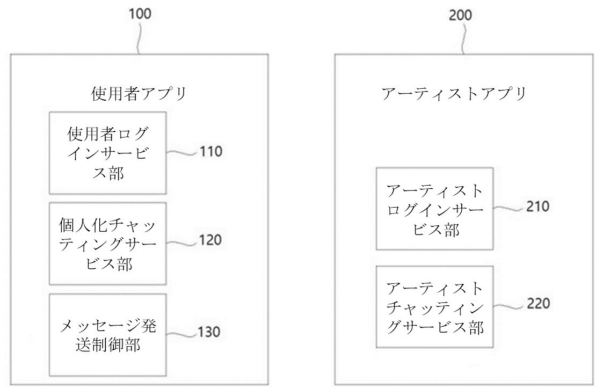
【図 2】



10

20

【図 3】



【図 4】

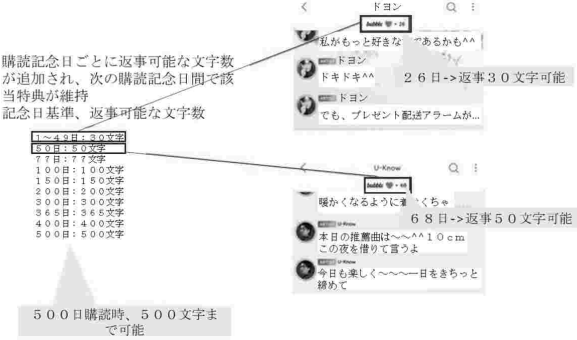


30

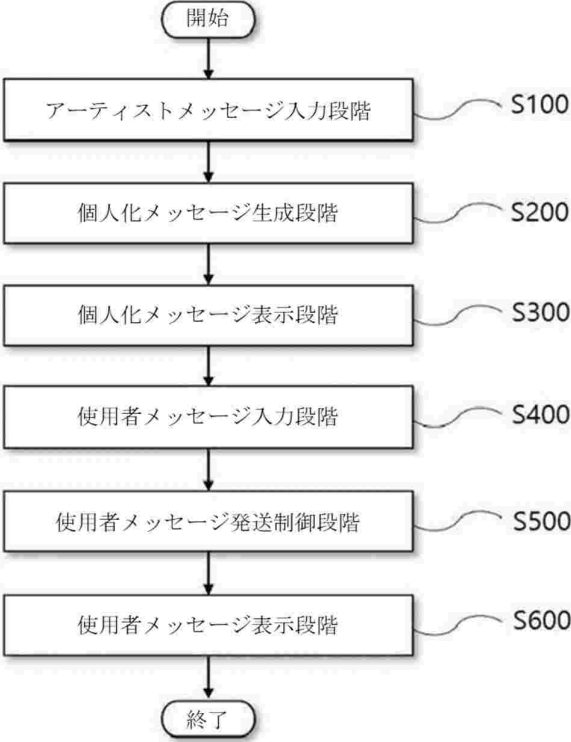
40

50

【図 5】



【図 6】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

ムーグ，ソルルンーロ 138－ギル，30，205

審査官 田中 秀樹

- (56)参考文献 韓国公開特許第10－2012－0137568 (KR, A)
韓国公開特許第10－2008－0006955 (KR, A)
韓国公開特許第10－2019－0101212 (KR, A)
韓国公開特許第10－2016－0113833 (KR, A)
韓国公開特許第10－2018－0046136 (KR, A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
H04L 51／02
G06Q 50／00
H04L 67／00
H04L 51／52